



昭和肥料ニュース FAX版

各地で猛暑や集中豪雨が発生し、作物にも人間にも厳しい夏です。貴社皆様におきましては夏バテにお気をつけお過ごしください。

土づくりの基本を再チェック

作物を栽培する上で、非常に大切な作業として

①排水性改善 ②土壌pH矯正 ③肥料成分の補給 が挙げられます。

①②③を作物の好む状態にすることが、土づくりの骨子です。

問題は、上記3点を整えても近年の異常気象から、「平年通り収量が取れにくくなっている」ということです・・・

豪雨による石灰等のミネラル流亡に平年以上の対策を！

突発的な豪雨や過乾燥、想定以上の高温傾向が原因で上記3つの条件が狂い

①排水が間に合わない、排水対策が故障する（明渠、暗渠が詰まる）

②石灰分の流亡が多く、pH矯正が弱い、持続しない

③肥料成分の流亡が多く、思った時期に効かない、肥料切れする

など、生育不良の原因となっています。「従来平年通り」の備えでは不十分であり、次の対策をご検討ください。

【対策例】

①排水策の徹底（機械作業周期を早め頻繁実施）、圃場水尻の補修の徹底、大明渠の設置、イネ科緑肥の導入（透水性の高い圃場改良）

②石灰資材の増肥（持続力の高い貝化石を推奨）、硫酸カルシウム資材の追肥 保肥力を高める粘土鉱物（ゼオライト等）や腐植酸資材の併用

③地温低下資材の導入、適時の追肥の実施（特に流亡しやすいN、K） 長期溶出タイプの肥料への切替（初期生育重視の作物には不向き）

変えられない事（気象、土質等）と、変えられる事（作付け作物種、肥培管理、土づくり等）を見回し、実行可能なことは多くあります。特に土づくりには弊社製品がお役に立ちますので、ご相談くださいませ！

有機肥料（緑肥・堆肥） & ゼオサット（微生物資材）で急がば廻れ！



【ゼオサット 12kg】

国産ゼオライトを基材に使い、分解菌・連作障害対策菌、それらの菌の増殖を促す酵母を配合した新商品です。

作付け前、又は収穫後の残渣分解時にお使いください！

各障害の根本対策として、今注目の微生物資材ゼオサットを紹介します。微生物を活かすため、有機物との併用が特にオススメです。安定生産のため一度お試しく下さい！（一見時間がかかる土づくりが、実は最速の対策になります）



お問い合わせは

TEL 0766-67-2700 FAX 0766-68-1227

HPアドレス <https://showa-f.co.jp>